

リンゴ黒星病 子のう孢子飛散調査 観測地点：飯綱町

令和4年（2022年）6月2日

長野農業農村支援センター

リンゴ黒星病の一次伝染源は前年の被害落葉で、降雨により被害落葉の濡れ時間が長くなると子のう孢子が飛散し、病気が伝染します。子のう孢子の飛散が多いと感染する機会が多くなります。

○降雨が続く日はりんご黒星病に感染する可能性が高くなります。

天気予報を確認しながら降雨前の防除行いましょう。

5月下旬～6月は黒星病の二次感染の時期です。散布間隔が空きすぎないように薬剤散布を実施してください。

表1 リンゴ黒星病子のう孢子の捕捉数（観測地点：飯綱町普光寺）

捕捉期間		令和4年		備考
		捕捉数	期間中降雨	
4月	4～11日	0	4/7:0.2mm 4/8:0.1mm	
	12～18日	0	4/15:0.9mm 4/18:0.6mm	
	19～25日	6	4/21:0.4mm	初補足
	26～5月2日	—	4/27:4.3mm 4/29:2.9mm 5/1:0.5mm	機器の不調のため 測定できませんでした
5月	3～9日	—	5/9:0.3mm	機器の不調のため 測定できませんでした
	10～16日	39	5/13:0.8mm 5/14:0.8mm	
	17～23日	11	5/21:0.2mm 5/22:0.1mm	
	24～30日	22	5/28:0.1mm	

注1) 捕捉に用いるスライドガラスは7日を基準日とした日中に交換するため、捕捉期間は前後にまたがっています。

※3/1からの有効積算気温が180℃に達し、その後平均気温が10℃超え、

一旦気温が下降して、再度10℃を超えた降雨のある日には初飛散するとされています。

初飛散予測観測地点：飯綱町（普光寺）、長野市（果樹試験場）

	標高	180℃到達	日平均気温 10℃超えた日	日平均気温 再度下降した日	展葉期	初飛散 予測
飯綱町倉井	530m	4月10日	4月10日	4月15日	4月10日	4月21日
長野市城山	420m	4月2日	4月5日	4月8日	4月10日	4月14日